

# 総長あいさつ



九州大学総長 久保千春



九州大学は、1911年に九州帝国大学として創設され、人社会系・理工系・医歯薬系の広範な領域において、我が国を代表する基幹総合大学として発展を遂げました。

2011年の創立百周年に際し、これからの百年に向けて、「自律的に改革を続け、教育の質を国際的に保証するとともに、常に未来の課題に挑戦する活力に満ちた最高水準の研究教育拠点となる」ことを基本理念とし、「躍進百大」（九州大学が全ての分野において世界のトップ百大学に躍進する）というスローガンを掲げました。私は2014年10月に総長に就任し、「九州大学アクションプラン2015-2020」を策定し、本年度に実施するよう取り組んでいます。

## 【アクションプラン（骨子）】

- I. 世界最高水準の研究とイノベーション創出
- II. グローバル人材の育成
- III. 先端医療による地域と国際社会への貢献
- IV. 学生・教職員が誇りに思うキャンパスづくり
- V. 組織改革
- VI. 社会と共に発展する大学

近年、少子高齢化、逼迫した財政状況、不安定な国際情勢、深刻化する環境問題など、私たちはさまざまな困難に直面しています。そのような中、国立大学に対しては、行政や産業界等から、目に見える改革や機能強化が求められています。大学に対する社会からの要請や期待に、基幹総合大学として、またそこで働く教職員として、自覚と誇りを持つて的確かつ迅速に伝えていく必要があります。

2018年9月には、2005年にスタートした伊都キャンパスへの移転事業が完了し、素晴らしい環境に恵まれたキャンパスが出来ました。これを契機に、九州大学は世界最高水準の教育・研究と診療活動をさらに展開し、これらの成果を世界へ発信していくこと目指します。世界へ躍進する九大新世紀です。この目標を達成するため、すべての教職員が、直面する数々の課題に挑戦し、新しい道を切り開いていくことを願っております。

大学全体としても、学部教育から研究者育成まで一貫性のある取組として連動させる持続的人材育成戦略「九州大学ルネッサンスプロジェクト」の実施や、今後ますます複雑化する社会的課題に対応するための人材を育成するため、異分野融合を基調としたオーダーメイド型カリキュラムを履修する学位プログラム「ダ・ヴィンチプログラム」の創設など、様々な改革に取り組んでいるところです。

このたび、教員の教育研究活動の一助とするため「九州大学教員ハンドブック2020」を刊行しました。このハンドブックには、九州大学での教育研究活動においてぜひ知っていただきたい重要な事項が網羅されています。

九州大学における教員生活のよきガイドとして活用していただき、充実した教育研究活動を展開されることを期待いたします。